

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

## 【取組内容①】 学校と家庭をつなぐコネクト学習の学びを活かした授業づくり

1人1台端末（持ち帰り端末）を効果的に活用したコネクト学習により学校と家庭をつなぎ、確実に学んだことを定着させ、児童生徒が主体的・協働的に学び合うことができる授業

### コネクト学習の概要

|          | スタンダード                               | 復習型  | 学習の個性化  | 活用型  |
|----------|--------------------------------------|--|---|--|
| 標準       | 「問いをつかむ」から「振り返る」まで、全段階を通す標準的な授業スタイル。 | 学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせた「確かめる」学習を充実させる。 | 家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。 | 単元全体を通して、本時での振り返りを主としながら、各自でテーマを設定し、家庭で情報収集や整理分析、まとめを行い、単元末に全体で共有する。 |
| 家庭       | 問いをつかむ                               | 問いをつかむ   | 自分の考えをもつ                                      | 学校<br>・本時の振り返り<br>・単元を通しての学び<br>⇒ 新たな疑問、興味関心等                        |
| 学校（単位時間） | 考えをもつ                                | 考えをもつ  | 問いを解決する                                       | 課題設定<br>情報収集<br>整理分析   |
|          | 問いを解決する                              | 問いを解決する  | まとめる  | 家庭<br>・本時の学びを通して、各自でテーマを設定し、まとめる。<br>⇒ 他者参照・他者共有により、テーマや内容を深め上げる。    |
|          | まとめる                                 | まとめる   | 確かめる  | 学校<br>学びをつなぎ、広げ、深める（学びの個性化）  |
|          | 確かめる                                 | 確かめる   | 振り返る  | まとめた内容の共有・一般化  |
| 家庭       | 振り返る                                 | 振り返る   | 確かめる、習熟する                                     |  |

### 学習の個性化

自分の考えをもつ

問いを解決する

まとめる

確かめる

振り返る

問いをつかむ

### 指導の個別化

協働的な学びや習熟・発展の時間の充実

主体的な学びや確かめの充実

興味関心、自己表現・学習の深化の充実

### 鑑賞「ブルタバ」スメタナ作曲（中学3年）

#### 【問いをつかむ段階】

各自に割り当てられた課題を家庭で情報収集し、スライドにまとめてくる。（コネクト学習予習型）

課題A：作曲当時のチェコを取り巻く社会情勢  
課題B：「わが祖国」に込めた思い

#### 学びの充実

#### 【考えをもつ・問いを解決する段階】



家庭で調べまとめたスライドを活用することで、個別に行う聴き取り活動も充実していた。まとめた意見を共有シートで全体共有し、意見交換したことで、深まりのある学習になった。



※まとめてきたスライド

～「わが祖国」に込めた思い～  
チェコ語で「ウルタヴァ」 ドイツ語で「モルダウ」  
スメタナが交響詩「我が祖国」の作曲を始めた1874年  
⇒当時のチェコは、オーストリア帝国の支配下  
×チェコ語で曲名を付ける×  
水の流れる姿をただけじゃなく!? スメタナのチェコへの愛!!  
この曲は短調で始まっている  
2つの水車の「川」が合流して「河」になる  
⇒長調で華やかなメロディー  
これは、チェコ民族の独立と断崖を表していると言われている。  
今は涙の降るような辛い状況にあっても、いつかは必ず晴れて明るい未来がやってくる。という長調のメロディーをスメタナが「モルダウ」に込めた。この作品は、他国に支配されているチェコの人々に明るい未来を祈り、その思いを託した曲でできない川の流れで表現されている。

#### 【まとめる・確かめる・振り返る段階】

先生の話聞き、全体でオーケストラ演奏のライブ感を味わわせることで、より深い理解と感動につながった。



|    | (1) 「ブルタバ」の主題の変化                                       | (2) スメタナはどのような思いを込めたのか   |
|----|--|--|
| 前半 | すこし遅い   リズム感があまりない   少し暗いイメージ                          | 曲の中で、前半の部分は、昔（作曲当時）のチェコの雰囲気やチェコの不自由さを表されていて、後半の部分は、チェコの最近の様子をスメタナはイメージして作ったと考えます。スメタナは、「現在のチェコ国民が幸せで、みんな平等な未来になってほしい」という思いを込めたかったのだと読み取りました。 |
| 後半 | 前半よりも明るく、テンポが早い   リズミカル   豪華な感じ                        | 前半と後半を比較すると、後半のほうがテンポが速く明るいイメージがあるため、後半に流れるにつれて長調になっていると考えました。   |
| 後半 | 前半は短調で、後半よりも楽器が少ない気がした。強弱が激しい。後半は長調で楽器がたくさん使われている気がした。 | 苦しい状況でも必ず明るい未来はあるという気持ち。   |

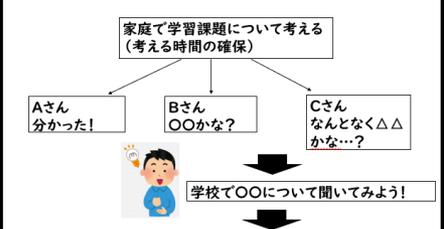
※共有シートの一部

### コネクト学習のねらい

【1人1台端末（持ち帰り端末）の効果的活用】

- ① 学びに連続性をもたせる
- ② 時間を効率的に使う
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる

### コネクト学習：予習型（家庭から学校に学習をつなぐ）



対話的な活動や習熟・発展の時間の充実